

京都市役所庁舎及び消防庁舎における

ゼロ・エミッション実践活動の展開について

～ 政令市初！ もっと環境にやさしい市役所へ，市職員自らの率先垂範行動 ～

京都市では，あらゆる分野で環境を基軸とした政策を展開することを掲げ，全国に先駆けた「京都市地球温暖化対策条例」の制定・施行やごみの減量化，リサイクルの推進に全力を挙げる一方，本市が自ら行う事業活動においても，排出ごみの減量，リサイクルの推進，エアコンの適温設定等に取り組んでおり，市役所本庁舎やすべての区役所・支所等で国際規格 I S O 1 4 0 0 1 を認証取得しました。

こうした京都市の先導的な事業活動を更に推進するため，職員数2,300人という市内有数の大規模事業所である京都市役所庁舎・消防庁舎において，焼却・埋立て処分するごみを限りなくゼロに近づけることを目指した「ゼロ・エミッション」を宣言し，実践活動を本年4月から展開します。

京都市のゼロ・エミッションでは，マイバッグでの買い物の徹底やごみ箱の撤去，そしてリサイクルの取組では，厨芥類（生ごみ類）をバイオガスから水素を生成する実証研究に活用します。

記

1 開始時期 平成18年4月～

2 対象施設 京都市役所庁舎及び消防庁舎

3 ゼロ・エミッション実践活動

「ごみを持ち込まない」「職場のごみ箱の撤去」「分別・リサイクルの徹底」の3つを柱に活動を展開する。

(1) ごみを持ち込まない

パンや弁当などを入れるレジ袋を使用せず，マイバッグで持ち帰る取組の徹底

(2) 職場のごみ箱の撤去

ごみ箱に代えて，品目別のきめ細やかな分別箱を設置

(3) 分別・リサイクルの徹底 【詳細は、別紙1】

① 品目数 17品目 (← 12品目)

缶・びん・ペットボトル・乾電池・蛍光灯・コピー用紙・新聞紙・
ダンボール・雑誌等・備品類・秘密文書・廃油・紙屑・プラスチック・
小金属類・スプレー缶・厨芥類

② 主な品目の分別・リサイクル

- ・ 缶は、アルミ缶とスチール缶に分別し、アルミ缶をアルミホイール等へ、スチール缶を鉄へリサイクル
- ・ びんは、有色と無色に分別し、それぞれ有色びん、無色びんへリサイクル
- ・ ペットボトルは、ペットボトル、カーペット、衣類等へリサイクル
- ・ 蛍光灯は、蛍光灯、水銀、ガラス材料へリサイクル
- ・ 紙類は、6種類に分別し、コピー用紙、トイレットペーパー、菓子や洗剤の箱などへリサイクル
- ・ 厨芥類を、実用化を目指しているバイオガスから水素を生成する研究に活用
- ・ プラスチック類と小片の紙屑を混合し、固形燃料としてリサイクル
- ・ 小金属類、スプレー缶を、各種金属へリサイクル など

【具体的な活動例は、別紙2】

4 効果 (平成18年度見込値)

焼却・埋立てごみの削減 約730トン

リサイクル率 約95% (100%を目指して更に検討を進める。)

CO₂削減 約184トン

5 職員への周知徹底

実践に当たり、以下により取組を着実に定着させるとともに、職員の環境意識を高めていく。

(1) 電子マニュアルの作成

(2) 職員向け研修の実施

(3) 各職場単位に「ゼロ・エミッション推進員 (仮称)」を配置

【参考１】 ゼロ・エミッション（Zero Emissions）

１９９４年に国連大学が提案した理念で、産業から排出される廃棄物・副産物が他の産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産を目指そうとするものであり、その理念に沿った活動が製造メーカーや、事業所・オフィスで行われている。

製造メーカーでは、工場内で発生する廃棄物・副産物のリサイクル率１００％を目標に掲げ、取り組まれている。一方、事業所・オフィス系では分別・リサイクルを拡大し、焼却・埋立て処分するごみを限りなくゼロにする活動として取り組まれており、この度の京都市役所での取組は後者に該当する。

【参考２】 活動による効果

	平成１６年度 （１２品目）	活動開始後 （１７品目）
焼却・埋立てごみの削減	約５２０トン	約７３０トン
リサイクル率	約６７％	約９５％
ＣＯ₂削減	約２３トン	約１８４トン

【参考３】 庁内におけるＩＳＯ１４００１の取組

国際標準化機構が制定し、認証を行っている環境マネジメントシステムの国際規格。事業者を対象に、環境目標を設定し、それを達成するために環境マネジメントシステムを導入して運用することを求めるもの。

京都市では、市役所庁舎、消防庁舎、全区役所・支所、上下水道局本庁舎などが認証取得している。

本市の主な取組

- ・ エネルギーや資源の消費の節減，効率的利用
コピー用紙・封筒等の再使用，グリーン購入の促進，空調の適温設定 など
- ・ 廃棄物排出量の削減，リサイクル推進
分別回収の徹底 など

○ これまでのＩＳＯ１４００１認証取得状況

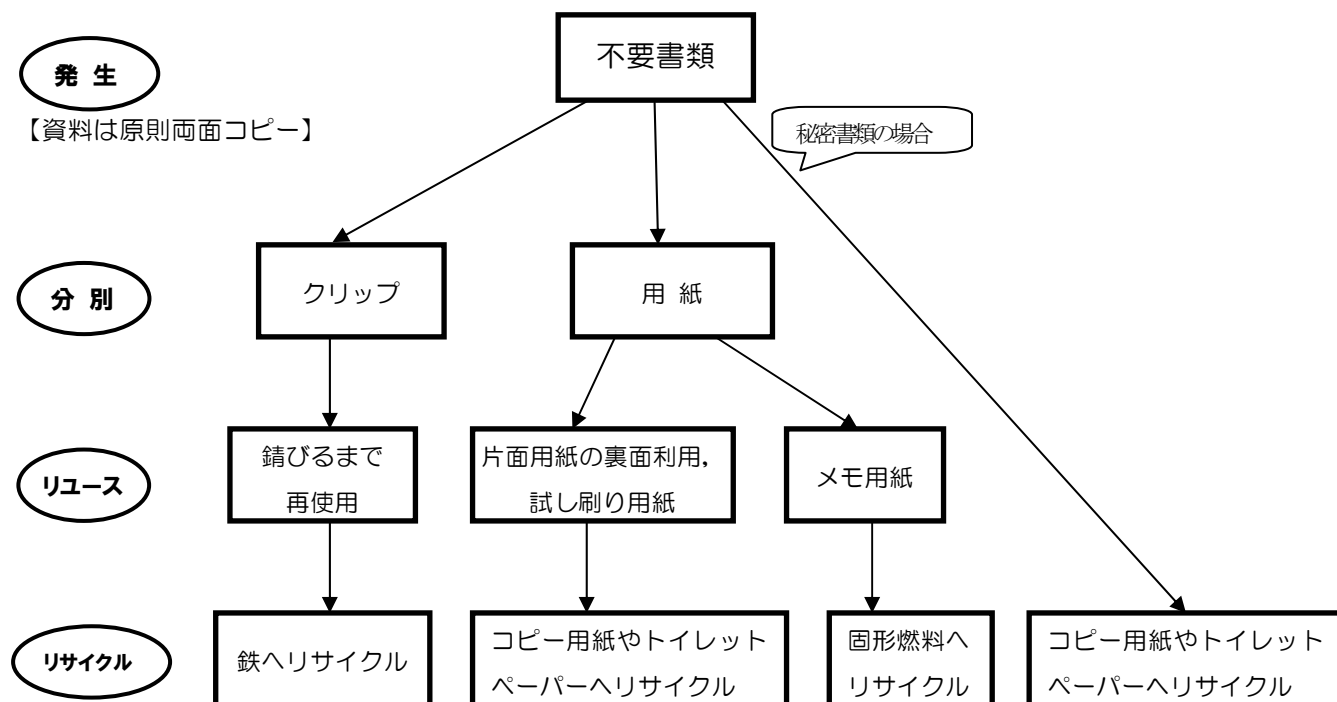
	認証取得日
山科区役所，青少年科学センター， 東部クリーンセンター	平成１２年１月１１日
工業技術センター	平成１３年２月７日
京都市役所庁舎，消防庁舎	平成１５年９月８日
石田水環境保全センター	平成１６年２月１１日
京都市役所庁舎，消防庁舎， 全区役所・支所，上下水道局本庁舎	平成１７年９月１２日
すべての水環境保全センター	平成１７年１２月２６日

京都市役所庁舎及び消防庁舎から排出されるごみ量と処理方法（平成16年度実績）

品 目		年間排出量 (単位：トン)	現行処理	ゼロ・エミッション後処理 (18.4～)	
分別・リサイクル処理している品目	①缶	19.6	アルミホイール，鉄へリサイクル	同 左	
	②びん	7.8	びんへリサイクル	〃	
	③ペットボトル	8.6	ペットボトル,カーペット,衣類へリサイクル	〃	
	④乾電池	0.2	乾電池，水銀へリサイクル	〃	
	⑤蛍光灯	0.6	蛍光灯，水銀,ガラス材料へリサイクル	〃	
	⑥コピー用紙	96.4	リユース後，再生紙へリサイクル	〃	
	⑦新聞紙	44.1	新聞紙，雑誌へリサイクル	〃	
	⑧ダンボール	66.9	ダンボール,トイレットペーパーの芯へリサイクル	〃	
	⑨雑誌，封筒等	134.1	菓子箱，洗剤の箱へリサイクル	〃	
	⑩備品類 (金属類)	86.7	各種金属へリサイクル	〃	
	⑪秘密文書	54.5	コピー用紙，トイレットペーパーへリサイクル	〃	
	⑫廃油	0.3	バイオディーゼル燃料へリサイクル	〃	
	小 計	519.8	—	—	
焼却・埋立て処分している品目	ごみ箱等	⑬紙屑	210.1	新たに分別・リサイクル処理する品目	紙屑とプラスチックを混合し，固形燃料としてリサイクル
		⑭プラスチック (レジ袋,弁当がら等)			
		⑮小金属類			鉄へリサイクル
		⑯スプレー缶			
	食堂・炊事場	⑰厨芥類 (生ごみ類)	焼却・埋立て処分	同 左	
		ガラス，吸殻，汚れた新聞紙等			—
	小 計	251.4	—	—	
計		771.2	リサイクル率 約67%	リサイクル率 約95%	

ゼロ・エミッション実践活動の具体例

【例 1】 不 要 書 類 の 取 り 扱 い



【例 2】 コンビニでチョコレートを買って来て食べる場合

